



いまいは今
vol.129

発行 今井町並み保存会
発行日 平成23年3月1日
電話 0744-22-1128
http://www.3kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井まちづくりセンターまで

ならで学ぶ 地域づくり実践ゼミ

「ご存知ですか?お能は奈良が発祥地」
2月5日(土)・6日(日)奈良県のまちづくり団体が集まり、奈良のことを学ぶと、「これからのまちづくりについて話し合いました。」

今年は何をテーマにゼミが開催されました。一週間前に降った雪が参道に残る中、5日の午前は、桜井の談山神社で宮司さんから多武峰と能のつながりについて話を伺いました。多武峰参勤が大和猿楽四座(金春・金剛・親世・宝生)による義務であったことや、能



談山神社は平成の大修理が始まっています。

と言えは静かな舞を想像しますが、多武峰様具足能という、実際の馬が出てきたり、甲冑を着て舞うなど、考えられないような能楽があることなど知らないことばかりでした。午後からは会場を大淀町に移し、平成14年から町で取り組んでいる子どもの能体験「ちびっ子検壇本座」の練習を見学しました。ここでは地元の小学生が月2回練習に励んでいます。

検壇本猿楽座は室町時代、大淀町検壇本を本拠地とし、そのお囃子は能のお囃子のルーツといわれ大いに繁栄したのですが、江戸時代初めに親世流とともに江戸に下ったのち、検壇本座は地元で忘れられていったのです。

当日は二十数名の子どもたちが水色の紋付き袴も鮮やかに、謡(うたい)「高砂」や仕舞(しまい)の実演。ゼミ参加者も笛や小鼓を体験して楽しいゼミになりました。

今回のゼミでは、子どもたちが地元の良さを体験することで町に誇りを持ち、自ら進んでまちづくりに参加していている姿が見えていて伝わってきました。ただ子どもたちの親の姿が見えなかったのですが、きっと家庭で今日のことを話してくれていることでしょう。

※ちびっ子検壇本座公演のお知らせ

3月20日(日)午後1時から「第9回大和猿楽子どもフェスティバル」が大淀町文化会館で開催されます。(入場無料)

第16回今井町並み散歩告知

今年も「今井町並み散歩」の開催が近づいてきました。町の皆様方に生き生きと楽しんでいただけたら、今まで多くの先輩方が積み上げてきていただいた土台の上に立って、更に活気ある2日間になりたいと思います。昨年より始めた「順明寺での町衆市」も六斎市とあわせてより充実していければと考えています。町の皆様の力を結集して、本当によかったね!と喜びあえる「今井町並み散歩」にしていきたいでしょう。プログラム等の詳細につきましては、決まり次第お知らせいたします。

日時: 5月14日(土) 15日(日) **2日間**
場所: 今井町(重要伝統的建造物群保存地区内)
※プレイベントも企画中です

「今年もお手伝いしますよ。」

「今年はお手伝いできますよ。」
スタッフとしてご協力いただける方、一人でも多くお待ちしております。よろしくお願いたします。

ご連絡は今井まちづくりセンター(☎0744・22・1128)まで。(事務局)

遺跡ウォークラリー開催

3月27日(日)に「今井町と畷傍山周辺の遺跡と陵墓を巡る」と題してウォークラリーが行われます。詳しくは主催者(権原考古学研究所付属博物館)にお問い合わせ下さい。

続・今井町団体紹介 その2

今井町防災会

会長 古林壮介氏に聞く



以前の今井町団体紹介でも今井町防災会を取り上げています(第58号)が、来る3月6日(日)に行われる「防災フェスティバル」を前に、改めて今井町防災会の古林会長に「今井町における防災活動の意義」について、お話しをうかがいました。

平成7年1月の阪神淡路大震災発生をうけて地域組織の強化の必要性がさげばれ、市内初の自主防災組織「今井町防災会」が設置されたのは平成7年12月のことでした。

防災会はその名の通り「災いを防ぐ」ことに重点を置いて活動しています。そのため年に1度、榎原消防署の施設で研修を行い、消火器やポンプ・チェンソーといった防災器具の定期点検をしています。

年の瀬には「年末夜間パトロール」を毎年行っていますが、ここ2、3年は町の人たちにも見回りの参加を呼びかけており、年々住民の参加者が増えているのは防災意識が高まっていることの表れだと喜んでおります。

こういった普段の活動とは別に、今井町並み散歩や今井灯火会、秋祭りといった町内諸団体の開催する行事にも参加して、緊急時の連携がスムーズにとれるようにしています。

3月6日(日)に開催される「防災フェス

ティバル」は、防災意識の高揚と住民同士の連帯と親睦を図ることが主たる目的です。

震度7の大地震が発生し、多数の家屋などが倒壊したという想定のもと、午前9時30分までに各町で定められた場所に集まり、天理教三津山分教会、今井小学校へとむかいます。



訓練内容については回覧板でもお知らせしましたが、今年は新たに、火災の時の煙による避難の困難さを体験していただく煙コーナーを終日開設しますので是非体験してください。

また、訓練終了後には綿菓子や参加記念品も用意しています。婦人会や日赤榎原奉仕団今井支部の皆さんによる炊き出し訓練の試食も例年通り行われます。

第10回という節目の年に当たり、多くの住民の方に参加していただきたいと思えます。

災害発生時にもっとも重要なのは、「人命救助」であり、そのためには「人と人との繋がりを常に考えておかなければなりません。それが町を守ることもつながっていきます。

私たちが今井防災会は江戸時代より受け継がれてきたこの町を、次の世代に引き継ぐために「自分の町は自分たちで守る」という意識を持ち活動していきたいと考えています。

いまいの人々は

俳句 三句

島岡 快子(西八幡町)

元旦や 地球のまわる 音を聞く

星々の 大三角や 年めぐる

ほとほと はらわたに浸む 七草がゆ

いまい往来

3月6日(日) 防災フェスティバル

今井小学校

3月13日(日) 広橋梅林 梅の里山祭
(大和今井の茶粥の梅干し産地)

訃報

2月2日、今井町並み保存会常任理事の中島清皓氏のご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

2月下旬発行の「近鉄ニュース」(近鉄駅構内にて無料配布)に今井町が取り上げられています。2月10日にはJR西日本が「三都十奈良の観光素材DVD」作成のために来町するなど、各方面で今井町は注目されています。ほかにも多数イベントの計画がありますので、確定次第お知らせしていきたいと思えます。